



In brief

A look at current financial reporting issues

2022年3月25日
No. 2022-05

SECが気候関連開示に関する新たな規則案を公表

要点

2022年3月21日、米国証券取引委員会(SEC)は、企業による気候変動のリスクと影響に関する説明へのニーズに対応した、新たな開示要求を提案しました。

論点

このSEC規則修正案は、米国内のSEC登録企業およびほとんどの外国登録企業(FPI)に対して、Form 20-F等の登録届出書や年次報告書において、以下のような気候関連情報を記載することを要求するものです。

- 気候関連のリスクならびにSEC登録企業の事業、戦略、見通しにこれらのリスクが実際に及ぼす、または及ぼしうる重要性のある影響
- 気候関連リスクに対するSEC登録企業のガバナンスおよび関連するリスク管理プロセス
- SEC登録企業のスコープ1およびスコープ2の温室効果ガス(GHG)排出量。早期提出会社および大規模早期提出会社では、特定の排出量に関する開示について保証を得ることが要求される。
- 監査済財務諸表の注記における、一定の気候関連の財務諸表に係る指標や関連する開示
- 気候関連の指標・目標や移行計画に関する情報(ある場合)

Viewpoint – USウェブサイトには、より詳しい内容の[In brief US2022-05「SEC気候関連開示規則案の概要」](#)(和訳は[こちら](#))が掲載されています。また、2022年3月25日公表の[ポッドキャスト](#)では、この全510頁の規則案の内容についてさらに詳しい解説を提供しています。

© 2022 PwC. All rights reserved.
PwC refers to the PwC Network and/or one or more of its member firms, each of which is a separate legal entity. Please see www.pwc.com/structure for further details.
This content is for general information purposes only, and should not be used as a substitute for consultation with professional advisors.

